

大和市の概況について

1. 沿革

明治24年(1891年)	9月	大和村誕生。(鶴見村から村名改称)
昭和19年(1944年)	11月	大和町 町制施行。
昭和30年(1955年)	4月	大和町・渋谷村の合併。
昭和34年(1959年)	2月1日	大和市 市制施行 県下14番目。
		平成21年(2009年) 市制50周年
平成12年(2000年)	11月1日	特例市へ移行。

2. 地勢

- ・ 神奈川県ほぼ中央で、都心から40km圏内に位置。
- ・ 南北に細長く、起伏が少ない地形。東西に2つの河川(境川、引地川)。
- ・ 面積は27.06km²とコンパクトな都市。(東西3.22km 南北9.79km)
 海拔は市役所の位置で71m。(最高90m 最低30m)
- ・ 交通の利便性に恵まれ、ほぼ全市域が鉄道駅からの徒歩圏内。

私鉄3線8駅

(相模鉄道本線、小田急江ノ島線、東急田園都市線)

大和駅と中央林間駅は、私鉄2線が交差しているターミナル駅。

国道3線(16号、246号、467号)

県道4線(40号横浜厚木線、45号丸子中山茅ヶ崎線、50号座間大和線、56号目黒町田線)

3. 人口

(1) 総人口 ~平成19年4月1日現在(国勢調査ベース)

総数 222,515人 (男 112,371人 女 110,144人)
 世帯 93,114世帯 1世帯当り2.39人(核家族化が進行。単身世帯も多い)
 人口密度 8,223人/平方キロ (川崎・横浜に次ぎ3位、横浜市とほぼ同じ。)

(2) 年齢別人口 ~平成19年4月1日現在(住民基本台帳から)

年少人口 0~14歳 30,404人(13.9%)
 生産年齢人口 15~64歳 152,209人(69.5%)
 高齢者人口 65歳以上 36,399人(16.6%)

神奈川県の主要統計から抽出

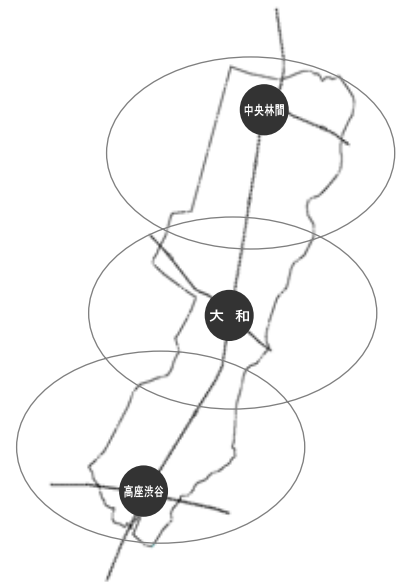
- ・ 面積は、県全体(2,414.01km²)の1.12%に過ぎないが、人口は、県全体(8,854,830人)の2.51%を占める。
- ・ 総人口のピークは、平成30年(2018年)に23.4万人と予測している。神奈川県の中位推計では、県全体のピークを平成31年(2019年)としている。

- ・ 高齢社会に突入しており、今後、少子高齢化の傾向は、ますます強まるが、現時点では、横浜市や三浦半島、湘南各市と比べると人口構成は若い状況にある。
- ・ 世帯数は、人口の伸びに合わせて暫増しているが、一世帯あたりの人員は2.39人であり、川崎、横浜に次いで、核家族化、単身世帯化が進んでいる。
- ・ 年間の自然増減、社会増減はともに、県内では平均的な数字だが、長期にわたる定住割合は、どちらかという和高くない状況にある。
- ・ 人口密度は、川崎市、横浜市に次いで第3位であり、時点では横浜市を上回ることもある。
- ・ 外国人の登録者数は、人口に対する比率では2.96%、綾瀬市に次いで第2位となり、外国人の割合が多い都市である。

4.3つのまち 大和市都市計画マスタープランより抜粋

(1)北のまち(中央林間、つきみ野、南林間、鶴間)

- ・ 市北部の中央林間、南林間は、大正の末期から昭和の初期にかけて開発された住宅地。
- ・ 今でも当時の街路がほぼそのまま残り、我が国の都市計画の歴史的遺産である林間都市開発の面影を強く残している。
- ・ 新しく整備されたつきみ野の住宅地も加え、この地域は基盤の整った緑の間に広がる良好な住宅地のイメージが形成されている。
- ・ 下鶴間地区では、遺跡や近世の宿場、古くからの集落など多くの歴史的遺産があり文化の香り高い地区である。



(2)中央のまち(大和、相模大塚、桜ヶ丘)

- ・ 市中部の大和、相模大塚地区は戦中から戦後にかけての土地区画整理により形成された。
- ・ 大和駅周辺では、戦後から高度成長期に商業の集積が進み、本市の核的な存在である。
- ・ 同じ時期に深見地区では工業の立地が盛んに行われ、本市商工業の中心地となっている。
- ・ 桜ヶ丘地区では大規模な住宅地形成のための土地区画整理も行われ、良好な住宅地が形成されている。
- ・ 相模大塚地区には引地川の水源を抱える泉の森、その東には中央の森、桜ヶ丘の東には久田の森と6つの森の内の3つを有している。

(3)南のまち(高座渋谷)

- ・ 市南部の高座渋谷の中心部は、現在、土地区画整理事業が進められている。
- ・ 高座渋谷地区は、鉄道が走り住宅地が広がる台地と、そこから坂道で結ばれる引地川、境川が作りだした谷地には斜面地や農地がたくさん残っており、緑豊かな生活の地となっている。

5. 厚木基地 大和市と厚木基地より抜粋

- ・ 約507万平方メートルの広大な敷地を有する厚木基地は、大和市の南西部に位置し、本市及び綾瀬市、海老名市の3市にまたがって所在している。
- ・ 厚木基地の滑走路は本市側にあり、さらに滑走路北側の延長線上には、本市の中でも特に住宅が密集する地域が広がっている。
- ・ 前述の3市に加えて、厚木基地周辺には横浜市、藤沢市、相模原市、座間市、東京都町田市などが所在しており、各市とも過密化した市街地を形成している。
- ・ 国によれば、厚木基地周辺人口は240万人とのことであり、このような中に所在する厚木基地は、全国に類例のない「人口過密都市の中にある軍用飛行場」として、基地周辺住民のみならず、広域にわたる多くの人々に対し、航空機騒音や事故の不安等を与え、その日常生活に様々な影響を及ぼしている。

6. 芸術文化関連施設の状況

(1) 市民の芸術文化活動の練習の場

コミュニティセンター

学習センター

(2) 市民の芸術文化活動の発表の場

保健福祉センターホール

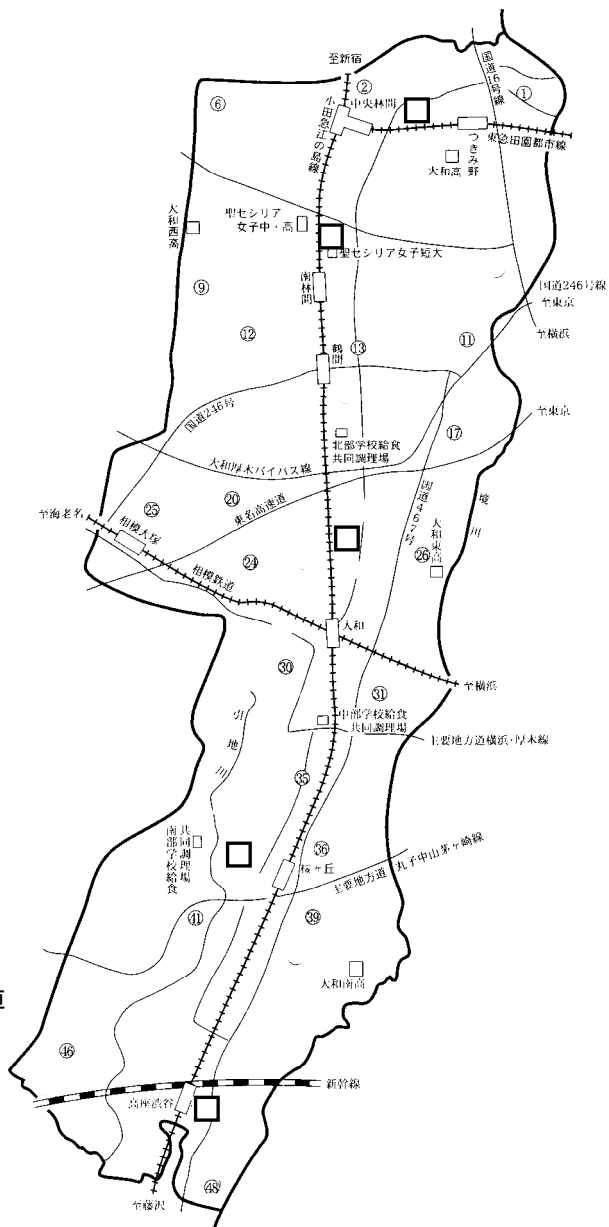
【施設の概要】

所在地：大和市鶴間1-31-7
 交通アクセス：小田急鶴間駅より徒歩5分
 延床面積：889㎡
 開館年月：昭和63年3月
 ホール客席数：400席
 用途：多目的
 附帯施設：楽屋、喫茶室、駐車場

生涯学習センターホール

【施設の概要】

所在地：大和市深見西1-3-17
 交通アクセス：小田急大和駅より徒歩10分
 延床面積：1,730㎡
 開館年月：昭和47年4月
 ホール客席数：601席
 用途：多目的
 附帯施設：会議室、託児室、楽屋、食堂、駐車



7. ホールの利用状況（平成18年度）

(1) 利用件数

施設名	件数	利用人数	使用可能日	使用日数
保健福祉センターホール	467	68,221	301	289
生涯学習センターホール	263	76,954	312	237

(2) 種類別利用件数

施設名	式典・ 大会・ 講演会	民謡・ 歌謡・ 詩吟等	映画	音楽	演劇	バレエ	その他	計
保健福祉センター ホール	81	15	2	137	4	3	225	467
生涯学習センター ホール	13	42	2	40	17	7	142	263

その他

- ・保健福祉センターホール：社交ダンス、検診、サウンドテーブルテニス(視覚障害者、低視力者の卓球)など
- ・生涯学習センターホール：年末調整説明会、運転免許講習会など

8. 学習センター登録団体及び芸術文化関係団体の状況

(1) 学習センター登録団体（社会教育関係団体）(平成19年度)

分野	団体数	分野	団体数
社会・生活	42	美術・音楽	86
生活	15	絵画	24
ボランティア	13	書道	13
国際交流・平和	3	音楽	23
その他社会・生活	11	映像・写真	13
教育	19	演劇	11
乳幼児	5	バレエ	2
青少年	9	体育	78
その他教育	5	スポーツ・健康	44
教養	41	ダンス	34
文学	21	趣味	106
歴史	2	手芸	19
語学	14	工芸	33
その他教養	4	茶道・生花	12
		邦楽・舞踊	20
		その他趣味	22
		合計	372

(2) 芸術文化関係団体

大和市音楽家協会（平成6年設立 会員数 83名）

- ・大和市を中心とした音楽家有志により、より良い音楽活動と市の文化向上に寄与することを目的に設立。
- ・地域の方々に気軽に楽しんでもらえる内容のコンサートを主眼に、創立以来数多くの演奏会、イベント出演などを行っている。

大和市合唱連盟（平成2年設立 加盟団体数 9団体）

- ・大和市にある合唱関係者を統合し、合唱音楽の向上発展に努めることを目的に設立。
- ・市民合唱祭や市民芸術祭の参加、ヴォイストレーニングなどの活動を行っている。

大和市文化連盟（昭和31年設立 加盟団体数 21団体）

- ・大和市内の芸術文化団体の活動を発展させ、文化の向上並びに社会福祉に貢献することを目的に発足。
- ・県文化振興大会への参加や芸術文化発表会などを開催している。

大和美術協会（平成12年設立 会員数 29名）

- ・美術の向上と文化の発展を目指し、市内在住のアマチュア作家が中心となって結成。
- ・大和展や大美展を開催している。

9. 芸術文化に関する事業の状況 平成19年度大和の教育より抜粋

(1) 文化祭

- ・一般市民を中心に日頃の芸術・文化活動の発表の場を作り、その知識・技術の向上と市民の文化への意識の高揚と普及を図ることを目的に開催している。

一般公募展

：市民から募集した書・絵画・写真の3部門の作品を展示。

市民芸術祭

：市内を中心に活動する芸術文化団体等が、共同で一つの芸術作品を発表。

芸術文化団体発表会

：市内を中心に活動する芸術文化団体が、約3ヶ月にわたり、それぞれ発表会を開催。



(2) やまとコミュニティ音楽館

- ・市民に身近な場所であるコミュニティセンターで質の高い音楽鑑賞ができる機会を提供することを目的に、大和市音楽家協会員の協力を得て実施している。

(3) 大和市インターネット美術館

- ・市内の芸術文化振興を目的に、インターネットを利用した美術情報提供サイトを運営している。
- ・市所蔵美術品、アトリエ訪問、大和市文化祭、サークル紹介を掲載。